



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第21号

令和5年10月16日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 「学校祭」開催に向けた御支援、ありがとうございました！

12日(木)と13日(金)の2日間、4年ぶりに3学年での縦割りブロックによる活動を中心とした「学校祭」を開催しました。今年度の生徒会テーマ「星」のスローガンのもとに、生徒一人一人の個性が「星」のように輝き、学校全体で大きな「銀河」を作るかのような素晴らしい2日間になりました。

【文化祭】



【体育祭】





【支えてくださった皆様】



今年度の学校祭を計画するにあたって、4年前まで開催をしていたブロック制での学校祭へ完全に戻すのではなく、今の子どもたちや学校に合ったものにしようということで、合唱コンクールやダンス発表について、

1位・2位などの「順位」を競うのではなく、各発表の個性・長所にスポットを当てた「〇〇賞」という形式に変更しました。

2日間の子どもたちの様子を見てみると、お互いのブロック発表やさまざまな取組に対して、「すごいね」「いいよねー」と認め合う声を、あちこちで聞くことができました。また、本番に至るブロック練習の中でも、得意・不得意がそれぞれ異なる子どもたちが、お互いを責め合うのではなく、「みんなで力を合わせてがんばろう」「その子なりのがんばりでいいんだ」という温かい協力関係を築き合い、ブロック制ならではの他学年との交流を通じて、お互いを応援し合う空気が全校に広がっていくことを感じました。

金曜日の閉会式では、「人と一緒に何かをすると、いいこと、嫌なことがいろいろあるけれど、それを仲間と協力し合って乗り越える。これこそが『学校』という場の大きな意義です。」という話を子どもたちにしました。コロナ禍で「バラバラ」が基本だった学校生活が、再び仲間と一緒に活動できる姿に戻ったことで、たくさんの悩みや困難も増えますが、人生にとって本当に有意義な学びが深められるようになったことを、改めて嬉しく思える学校祭になりました。

ご家庭や地域の皆様におかれましては、学校祭の開催に向けて各種ボランティアの参加を含め、多くの面で学校・子どもたちをご支援していただきました。本当にありがとうございました。素晴らしい学校祭を作り上げた子どもたちが、よりよい「地域の担い手」へと、さらに大きく成長することを共に願いつつ、本校の活動に今後ともご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

